

## Brooklyn DAC+の活用(12)

### —DSD 録音(7)—

#### 1. はじめに

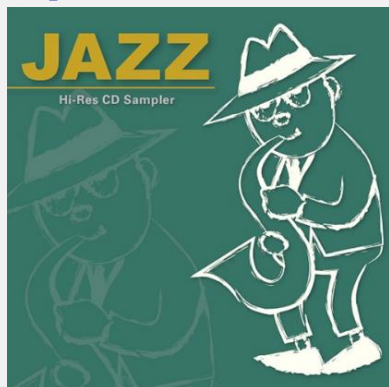
前報(11)までは、すべてクラシック領域の音源を扱ってきましたが、**Jazz**については、**MQA-CD**のサンプル盤を購入していますので、この中から**DSD**録音を実施して比較します。

#### 2. Brooklyn DAC+を使用した録音と試聴方法

**DSD**録音は、前報(7)のfidata 収納**MQA-CD**のリッピング**WAV**からの**DSD**録音と同じです。これらの再生も、前報(7)と同様です。

使用した音源は次のものです。

<https://www.universal-music.co.jp/international/mqa-uhqcd/cat/jazz/>



これがハイレゾ CD だ！ ジャズで聴き比べる体験サンプラー  
ヴェアリアス・アーティスト UCCU-40126/7

これらの中から 3 曲ほど選んで **DSD** 録音してみました。

#### 3. Brooklyn DAC+の試聴結果

**MQA-CD**からのリッピング**WAV**の再生とその**DSD**録音の再生を比較しますと、非常に良く似ていて、簡単に区別が付きにくいくらいです。クラシックと違って、音の滑らかさというようなところの**DSD**の特徴が分かりにくいのが、その理由です。**Jazz**に詳しいオーディオ仲間の判断を仰ぐ必要がありそうです。

#### 4. まとめ

**Jazz**音源について、**MQA-CD**からのリッピング**WAV**の**DSD**録音を実施しましたが、元音源によく似た音質となりました。

以上